事　務　連　絡
令和３年６月３日

（重要）厚生労働省及び経済産業省より、職域接種のニーズに関するアンケート調査がまいりましたので、お送りいたします。医療従事者等の人員や、接種会場等を自ら確保いただけることを前提に、自治体によるワクチン接種とは別に、各団体において職域接種の希望がある場合、本アンケートに御協力くださいますようお願いします。

文化関係独立行政法人の長
文化関係団体の長

文化庁政策課長

職域接種の要望確認について

現在、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が各地域において始まっているところですが、厚生労働省及び経済産業省より、自治体によるワクチン接種とは別に、自ら医師等を確保いただけることを前提として、各事業者による職域接種の意向の有無等を確認するためのアンケート調査がまいりました。

ついては、「職域接種の要望確認について」（厚生労働省・経済産業省）等下記の添付資料をご確認いただき、職域接種を希望される場合には文化庁政策課までご提出ください。

（留意点）

○今回の調査は、厚生労働省及び経済産業省において、各事業者がどの程度職域接種を希望するかの意向を飽くまで基礎情報として調べるものであり、今回の調査への回答の有無や回答内容が今後の各団体の判断を拘束するものではありません。一方で、今後のワクチンの需要について規模感を把握する上で重要な情報となりますので、職域接種を希望する場合には、可能な限り御回答いただくようお願いします。

○今回の調査については、職域接種の希望がある場合、かつ、自前で医療従事者等の人員・接種会場等を確保できる場合のみ回答いただくものですので、調査票の回答項目１及び２のどちらにも○がつく場合のみ回答を提出ください（両者に○がつかない場合、回答の必要はありません）。

○接種方法や会場の数、開設時間の設定により、必要な医師数や期間が異なることから、各法人の実情に合わせ、必要な医療従事者数は算定されます。具体的な医療従事者等の数の例としては、少なくとも予診・接種に関わる者として、予診を担当する医師１名、接種を担当する医師、歯科医師又は看護師・准看護師１名、薬液充填及び接種補助を担当する看護師又は薬剤師等１名を１チームとすることが想定されます。

○今回のワクチン接種については、１回接種当たり 2、070 円（税抜き、休日・夜間加算あり）の接種費用が委託契約に基づき、接種実施医療機関等に対して支払われる

予定です。

記

１．提出締切
6 月 10 日（木）

２．提出先
文化庁政策課：s-kikaku@mext.go.jp

３．添付資料
・職域接種の要望確認について
・新型コロナワクチン予防接種についての説明書
・企業による職域接種に関するアンケート（回答様式は別途 Excel ファイルでも添付）
・新型コロナワクチン職域接種各省庁向け説明会（第 1 回）
・新型コロナワクチン職域接種の開始について
・自衛隊大規模接種センターに関する資料の送付について（実際に職域接種を実施する場合の会場イメージとしてご活用ください。）

本件連絡先　文化庁政策課
電話：03-6734-2809(直通)
メール：s-kikaku@mext.go.jp

職域接種の要望確認について

令 和 ３ 年 ５ 月 ２ ８ 日
厚生労働省　健康局予防接種室
経済産業省　生活物資等供給確保戦略室

現在政府では、新型コロナワクチン接種希望者への接種の加速化に向けた検討を行っています。そのなかで、企業による職域接種に関するアンケート調査を実施することといたしました。

本調査は、自治体によるワクチン接種とは別に、自社で医師等を確保いただけることを前提として、企業による職域接種の意向の有無等を確認させていただくものです。

ご多忙中とは存じますが、関係業界の企業の意向確認のご協力を賜りたく何卒よろしくお願いします。ご回答は、下記要領に従い、電子媒体（Excel）で提出いただけますようお願いします。

１．作業要領

（１）所管省庁から関係業界（別紙参照）において職域接種を希望する企業に対して、「新型コロナワクチン予防接種についての説明書」を示しつつ、資料「企業による職域接種に関するアンケート」に記載している調査項目について確認してください。

（２）（１）でご確認いただいた内容を所定のフォーマット「アンケート回答（Excel)」にご記入いただき、所管省庁で取りまとめの上、いずれかの期日までに下記提出先まで提出してください。
一次締切：６月　４日（金）10：00
二次締切：６月１１日（金）10：00

（３）アンケート調査内容について疑問がある場合は、「２．問い合わせ先」に記載されている担当までご相談ください。

２．提出先・問い合わせ先

・厚生労働省　健康局予防接種室
電話：03-6812-7811　E-MAIL：yoboseshu@mhlw.go.jp
・経済産業省　生活物資等供給確保戦略室　ワクチン接種支援チーム
電話：03-3501-1538　E-MAIL:vaccine-team@meti.go.jp

（別紙）

企業による職域接種のニーズが想定される業種のイメージ

○　以下は、職域接種のニーズがあり、かつ、一定の規模が見込まれる業種のイメージであり、実際の職域接種はこれらの業種に限られるものではない。

警察庁：警備　等
総務省：郵政、放送（TV、ラジオ）、通信（NTT、携帯、ネット）　等
財務省、金融庁：金融機関、保険会社、JT、酒造　等
文科省：大学（学生、職員）、小・中・高校　等
厚労省：製薬、医薬卸、生活衛生業、（医療、介護）　等
農水省：農協、食品　等
経産省：製造（自動車・自動車部品、機械・電機電子、化学、ガラス、セメント、鉄・金属、金属加工、製紙、繊維、日用品、化粧品等）、エネルギー（電力、ガス）、貿易（商社）、情報（出版・印刷、コンテンツ、ゲーム、データ、広告代理店）、流通（スーパー、コンビニ、百貨店）等
国交省：公共交通（鉄道、バス、航空、船舶、タクシー）、港湾、宿泊・旅行、運輸、建設、造船、住宅、不動産　等
環境省：廃棄物処理　等

新型コロナワクチン予防接種についての説明書

武田／モデルナ社製用

新型コロナウイルスワクチン接種について

本ワクチンの接種は国と地方自治体による新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）ワクチン接種事業の一環として行われます。本ワクチンの接種は公費対象となり、希望者は無料で接種可能です。なお、本ワクチンは 18 歳以上の方が対象です。

ワクチンの効果と投与方法

今回接種するワクチンは武田／モデルナ社製のワクチンです。新型コロナウイルス感染症の発症を予防します。

本ワクチンの接種を受けた人は、受けていない人よりも、新型コロナウイルス感染症を発症した人が少ないということが分かっています。（発症予防効果は約 94%と報告されています。）

販売名	COVID-19 ワクチンモデルナ筋注®
効能・効果	SARS-CoV-2 による感染症の予防
接種回数・間隔	２回（通常、４週間の間隔）　※筋肉内に接種
接種対象	18 歳以上（18 歳未満の人に対する有効性・安全性はまだ明らかになっていません。）
接種量	１回 0.5 mL を合計２回

- 1 回目の接種後、通常、４週間の間隔で 2 回目の接種を受けてください。（接種後４週間を超えた場合は、できるだけ速やかに 2 回目の接種を受けてください。）
- 1 回目に本ワクチンを接種した場合は、2 回目も必ず本ワクチンの接種を受けてください。
- 臨床試験において、本ワクチンの接種で十分な免疫が確認されたのは、2 回目の接種を受けてから 14 日以降です。現時点では感染予防効果は明らかになっていません。ワクチン接種にかかわらず、適切な感染防止策を行う必要があります。

予防接種を受けることができない人

下記にあてはまる方は本ワクチンを接種できません。該当すると思われる場合、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 明らかに発熱している人（※1）
- 重い急性疾患にかかっている人
- 本ワクチンの成分に対し重度の過敏症（※2）の既往歴のある人
- 上記以外で、予防接種を受けることが不適当な状態にある人

（※1）明らかな発熱とは通常 37.5℃以上を指します。ただし、37.5℃を下回る場合も平時の体温を鑑みて発熱と判断される場合はこの限りではありません。

（※2）アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状。

予防接種を受けるに当たり注意が必要な人

下記にあてはまる方は本ワクチンの接種について、注意が必要です。該当すると思われる場合は、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある人
- 過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
- 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある人
- 過去に予防接種を受けて、接種後 2 日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた人
- 過去にけいれんを起こしたことがある人
- 本ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある人

（うらへ続く）

妊娠中、又は妊娠している可能性がある人、授乳されている人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。

本剤には、これまでのワクチンでは使用されたことのない添加剤が含まれています。過去に、薬剤で過敏症やアレルギーを起こしたことのある人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。

接種を受けた後の注意点

- 本ワクチンの接種を受けた後、15 分以上（過去にアナフィラキシーを含む重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、気分が悪くなったり、失神等を起こしたりしたことがある方は 30 分以上）、接種を受けた施設でお待ちいただき、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。(急に起こる副反応に対応できます。)
- 注射した部分は清潔に保つようにし、接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分はこすらないようにしてください。
- 通常の生活は問題ありませんが、激しい運動や過度の飲酒等は控えてください。

副反応について

主な副反応は、注射した部分の痛み（※）、頭痛、関節や筋肉の痛み、疲労、寒気、発熱等があります。また、まれに起こる重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーがあります。なお、本ワクチンは、新しい種類のワクチンのため、これまでに明らかになっていない症状が出る可能性があります。接種後に気になる症状を認めた場合は、接種医あるいはかかりつけ医に相談しましょう。

（※）接種直後よりも翌日に痛みを感じる方が多いです。接種後 1 週間程度経ってから、痛みや腫れなどが起きることもあります。

予防接種健康被害救済制度について

予防接種では健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことができないことから、救済制度が設けられています。

新型コロナワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金等の給付）が受けられます。申請に必要となる手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

新型コロナウイルス感染症について

SARS-CoV-2 による感染症が発症すると、熱や咳など風邪によく似た症状がみられます。軽症のまま治癒する人も多い一方、重症化すると、呼吸困難などの肺炎の症状が悪化し、死に至る場合もあります。

今回接種する新型コロナウイルスワクチン（武田／モデルナ社製のワクチン）の特徴

本剤はメッセンジャーRNA（mRNA）ワクチンであり、SARS-CoV-2 のスパイクタンパク質（ウイルスがヒトの細胞へ侵入するために必要なタンパク質）の設計図となる mRNA を脂質の膜に包んだ製剤です。本剤接種により mRNA がヒトの細胞内に取り込まれると、この mRNA を基に細胞内でウイルスのスパイクタンパク質が産生され、スパイクタンパク質に対する中和抗体産生及び細胞性免疫応答が誘導されることで、SARS-CoV-2 による感染症の予防ができると考えられています。

本剤には、下記の成分が含まれています。

有効成分	✧ CX-024414（ヒトの細胞膜に結合する働きを持つスパイクタンパク質の全長体をコードする mRNA）
添加物	✧ SM-102：ヘプタデカン-9-イル 8-((2-ヒドロキシエチル)(6-オキソ-6-(ウンデシルオキシ)ヘキシル)アミノ)オクタン酸エステル ✧ コレステロール ✧ DSPC：1,2-ジステアロイル-sn-グリセロ-3-ホスホコリン ✧ 1,2-ジミリストイル-rac-グリセロ-3-メチルポリオキシエチレン（PEG2000-DMG） ✧ トロメタモール ✧ トロメタモール塩酸塩 ✧ 氷酢酸 ✧ 酢酸ナトリウム水和物 ✧ 精製白糖

新型コロナワクチンの詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

厚労　コロナ　ワクチン　検索

ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。

企業による職域接種に関するアンケート

令和３年５月２８日

現在政府では、新型コロナワクチン接種希望者への接種の加速化に向けた検討を行っています。そのなかで、**企業等が持たれている医療資源（場所、医療従事者等）による職域接種のご希望がある場合について**、その具体的な検討に向けたアンケートへご協力をお願いいたします。

○企業による職域接種は、以下の様な状況・体制で行うことを検討しています。

- **予防接種法に基づく臨時接種**とし、**接種の副反応による健康被害**については、救済制度が設けられている
- 接種費用は、被接種者の居住する市区町村から負担金を支給
- 接種に必要な、**ワクチン・注射器等は、国が準備し、事前にお届けする。**
- **モデルナ社製ワクチンを使用**
- **同一会場**において、**２回の接種を実施**（**４週間の接種間隔**が**必要**）
- 接種の実施に要する**医療従事者等の人員・接種会場等を自前で準備できる企業等**に限る
- 接種対象は、接種する企業の関係者（**社員等**（**正規・非正規、契約・派遣など雇用形態によらず、企業において本人確認が行える者**）、及び**社員の家族**等）

アンケート

自治体によるワクチン接種とは別に、**自社で医療従事者等の人員・接種会場等を確保いただけることを前提**として、ご回答をお願いします。

※接種会場が、複数準備できる場合は、会場毎にご回答をお願いします。

＜職域接種の意向＞

1　企業によるワクチン接種を実施したい 【○】

2　自治体によるワクチン接種とは別に、自前で医療従事者等の人員・接種会場等を確保できる 【○】

＜医療従事者等の確保＞

3　医療従事者等の所属医療機関名

4　１日あたりの接種会場に従事する医師・看護師の数

5　１日あたりの接種会場に従事するその他の者の数

＜接種会場＞

6　接種会場 【企業立病院、社内診療所、社内会議室・講堂、駐車場など】

7　接種会場の住所

8　ワクチン保管用冷凍庫等の有無 【ワクチン保管用の-20℃冷凍庫の有無】

※ワクチン保存用の冷凍設備（－20℃±5℃）、冷蔵設備（2～8℃）の有無（接種会場で活用できるもの）、その他自己手配が難しい物の有無

＜接種人数等＞

9　被接種対象者の見込み人数（社員等●人）

※社員のうち職域接種を想定する範囲、人数を記載

10　接種実施期間（●月●日～●月●日）

11　１日あたりの接種の見込み人数、接種時間（一日あたり　●人/●時間）

12　うち、委託先の提携医療機関等に出向いて接種する場合の接種想定人数（1 日あたり　●人／●時間）

＜回答企業情報＞

13 企業名

14 企業内接種の調整担当部署、窓口担当者

15 連絡先 メールアドレス

16 連絡先 電話番号

17 従業員数（単独・グループ含む）、年齢構成

※「単独」とは、親会社のみの従業員数、「グループ含む」とは、親会社のほか子会社毎のグループ会社、協力会社や取引先等の者を含めた合計数

18 企業内診療所の有無（ある場合には、その名称、所在住所（複数ある場合は各々記載）

19 企業内診療所の医療従事者数（医師、薬剤師、歯科医師、看護師）

※常勤・非常勤の別も記載

20 産業医の人数

※専属・嘱託の別も記載

21 自治体等への企業内医師等派遣状況（人数・頻度・期間等）

22 企業内診療所での集団接種経験（インフルエンザワクチンなど）

※外部委託の場合は、外部委託と記載

以上

＜職域接種の可否＞	1	企業によるワクチン接種を実施したい 【○】	○
	2	自治体によるワクチン接種とは別に、自前で医療従事者等の人員・接種会場等を確保できる 【○】	○

＜職域接種の可否＞において、「○」とご判断頂いた企業のみ回答にご協力をお願いいたします。

			【記入例】	接種会場①	接種会場②	接種会場③
＜医療従事者等の確保＞	3	医療従事者等の所属医療機関名	企業内診療所職員、産業医			
	4	１日あたりの接種会場に従事する医師・看護師の数	2名			
	5	１日あたりの接種会場に従事するその他の者の数	5名			
＜接種会場＞	6	接種会場 【企業立病院、社内診療所、社内会議室・講堂、駐車場など】	社内診療所			
	7	接種会場の住所	○○県○○市○○111-1			
	8	ワクチン保存用の冷凍設備（－20℃±5℃）の有無（接種会場で活用できるもの）	有			
		ワクチン保存用の冷蔵設備（2～8℃）の有無（接種会場で活用できるもの）	有			
		その他自己手配が難しい物	医療用手袋			
＜接種人数等＞	9	被接種対象者の見込み人数（社員等●人）	正規社員5,000名			
	10	接種実施期間（●月●日～●月●日）	７月下旬～９月下旬			
	11	1日あたりの接種の見込み人数、接種時間（一日あたり　●人/●時間）	一日あたり　２００人/５時間			
	12	うち、委託先の提携医療機関等に出向いて接種する場合の接種想定人数（1日あたり　●人／●時間）	実施予定なし			
＜その他＞	-	自由記載欄				

＜企業基本情報＞	13	企業名	○○株式会社	
	14	担当部課室名	人事部	
		窓口担当者氏名	政府　太郎	
	15	担当者連絡先（メールアドレス）	seifutaro@mmm.go.jp	
	16	担当者連絡先（電話番号）	03-3500-0000	
＜企業詳細情報＞	17	（単独）従業員数	2,000名	
		（単独）従業員年齢構成（65歳以上）	0名	
		（単独）従業員年齢構成（64歳未満）	1,990名	
		（グループ合計）従業員数	5,000名	
		（グループ合計）従業員年齢構成（65歳以上）	10名	
		（グループ合計）従業員年齢構成（64歳未満）	4,990名	
	18	企業内診療所の有無	有	
		企業内診療所数	1施設	
		①有（施設名称、所在住所）※施設毎に記載	本社診療所（○○県○○市○○111-1）	
		②有（施設名称、所在住所）※施設毎に記載	-	
		③有（施設名称、所在住所）※施設毎に記載	-	
		④有（施設名称、所在住所）※施設毎に記載	-	
		⑤有（施設名称、所在住所）※施設毎に記載	-	
		⑥有（施設名称、所在住所）※施設毎に記載	-	
		⑦有（施設名称、所在住所）※更にある場合は当該セル内にまとめて記載	-	
	19	企業内診療所の医療従事者数（合計）	9名	
		うち、医師の人数（常勤）	2名	
		うち、医師の人数（非常勤）	0名	
		うち、薬剤師の人数（常勤）	0名	
		うち、薬剤師の人数（非常勤）	0名	
		うち、歯科医師の人数（常勤）	1名	
		うち、歯科医師の人数（非常勤）	0名	
		うち、看護師の人数（常勤）	4名	
		うち、看護師の人数（非常勤）	2名	
	20	産業医の人数（専属）	1名	
		産業医の人数（嘱託）	0名	
	21	自治体等における集団接種への企業内医師等派遣状況（人数・頻度・期間等）	５月下旬から医師２名、週末のみ集団接種会場にて従事	
	22	過去の企業内診療所での集団接種経験（インフルエンザワクチンなど）	有（外部委託）	
【○○省】	-	部局名	○○局○○部	
	-	課室名	○○課	
	-	担当者名	○○○	

新型コロナワクチン職域接種
各省庁向け説明会（第１回）

令和３年６月２日

パターン１　企業内診療所で実施

・対象は社員のみが基本（入館管理の都合等）
・接種体制は一時的

契約者：企業又は企業内診療所

パターン２　外部機関が出張して実施

・外部の医療機関が企業内の会議室などで実施
・実施医療機関は複数の企業から委託を受けることも多い

契約者：医療機関（巡回診療所等）
※新規に医療機関を開設するケースも想定される

パターン３　外部機関に出向いて実施

・企業が指定した医療機関で実施
・実施医療機関は複数の企業から委託を受けることも多い

契約者：医療機関（地域の医療機関）

職域接種の協力依頼の内容（たたき台）

職域接種とは

（１）地域の負担を軽減し、接種の加速化を図るため、賛同する企業や大学等において職域単位での接種を可能とする。
（２）医療従事者や会場などは企業や大学等が自ら確保し、自治体の接種事業に影響を与えないこと。

企業等に求めること

（１）医師・看護師等の医療職の他、会場運営のスタッフ等、必要な人員を企業や大学等が自ら確保すること。
　　また、副反応報告などの必要な対応を行うことができること。
（２）接種場所・動線等の確保についても企業や大学等が自ら確保すること。
（３）社内連絡体制・対外調整役を確保すること。（事務局を設置すること。）
（４）同一の接種会場で２回接種を完了すること、最低2000回（1000人×2回接種）程度の接種を行うことを基本とする。
（５）ワクチンの納品先の事業所でワクチンを保管の上、接種すること。

企業等が行うこと（準備から接種までの流れ）

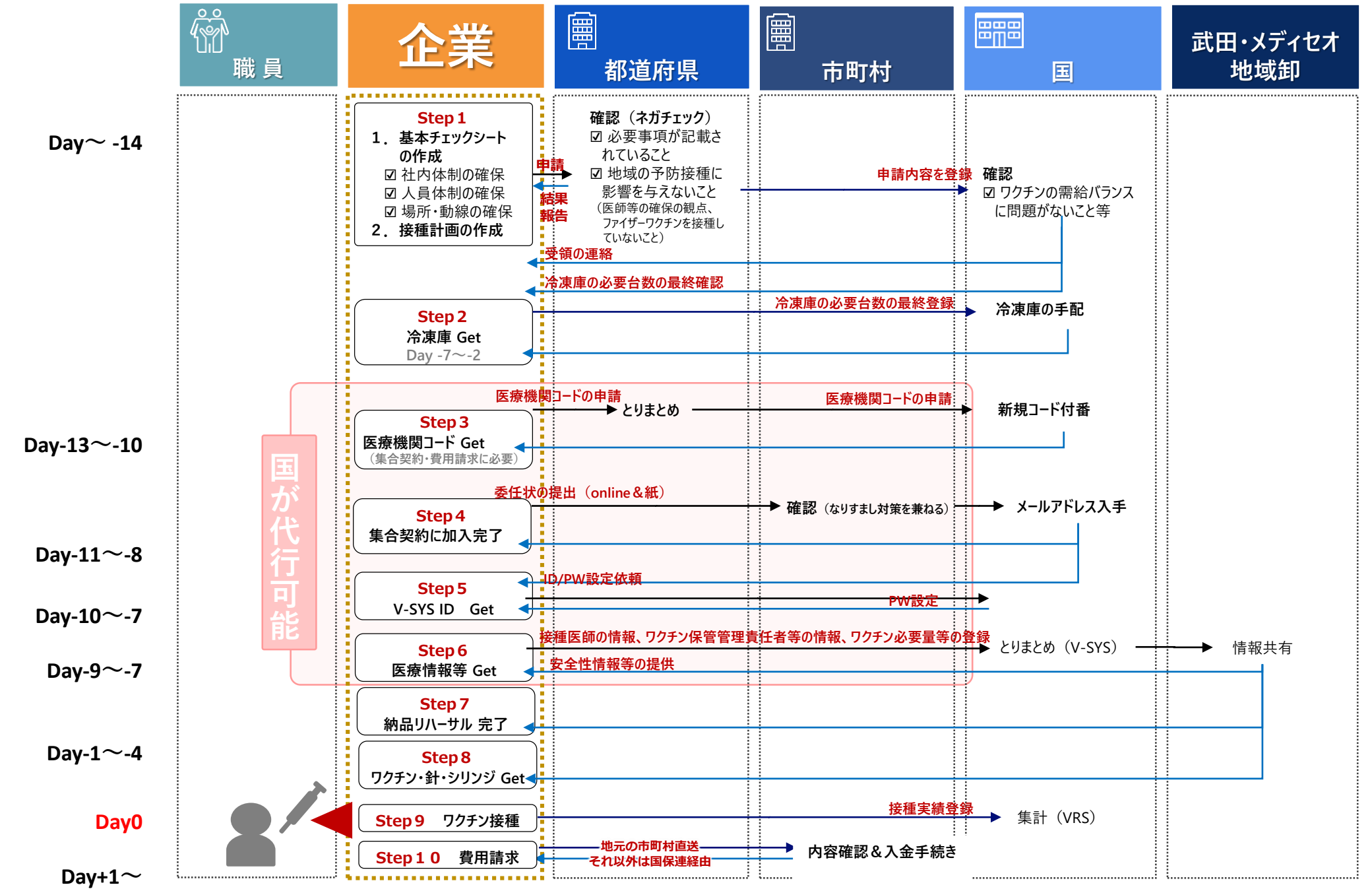
＜準備１＞　上記企業要件の（１）、（２）、（３）を確保の上、接種計画を作成し、基本チェックシートを作成。
＜準備２＞　基本チェックシートを都道府県に提出し、了承を得る。（地域の予防接種に影響を与えないことを確認）
＜準備３＞　基本チェックシートを都道府県から厚労省に提出。

国が代行業務
（NEC）

- **市町村との集合契約に必要な医療機関コード付番申請する。**
- **集合契約へ加入する（委任状に押印箇所があり、 廃止には総務省の協力が必要）。**
- **接種責任医師名、ワクチン保管管理責任者等の必要情報をV-SYS上で登録する。**
  （※委任状に上記情報を記載する様式を添付し提出頂く。）
- **ディープフリーザーの手配**
- **ワクチンの必要量等をV-SYS上に登録する。**

＜最終準備＞　ディープフリーザーを設置し、ワクチンの納品リハーサルを実施。
＜接種本番＞　ワクチン接種を実施。実績報告。
＜費用請求＞　費用請求を行い、後日、入金を確認。

職域接種の準備工程のフロー図（暫定版）



職域接種にあたり企業側で準備いただく事項

会場における人員確保について

医師・看護師等の医療職の他、会場運営のスタッフ等、必要な人員を企業や大学等が自ら確保いただく必要があります。

＜具体的に必要な人数について（例）＞

・接種人数：400人/日　・接種時間：８時間（９時～１８時※１時間休憩）
・３レーン設置　15人程度/１レーン/１ｈ
・医師２名（問診）、看護師６名（接種３、予診票２、希釈１）事務職６名（受付２、誘導２、消毒等の対応２）
　会場責任者１

準備するもの、接種場所等について

会場を設置するに当たっては、接種場所・導線等についても企業や大学等が自ら確保いただくとともに、各種物品を確保いただく必要があります。武田／モデルナ社ワクチンについては、納品先の事業所でワクチンを保管の上、接種することになりますので、御留意ください。

＜具体的な準備（例）＞

（１）（医療機関でない場所で接種を実施する場合）医療法上の開設届け
（２）会場レイアウトの作成、導線確認（次ページ参照）
（３）卸売販売業者立ち会いのもと、ワクチンの配送訓練の実施
（４）消毒用アルコール綿、体温計、救急用品、針捨て容器、使い捨て手袋等の必要物品の用意　　など

事務局で実施すること

企業において社内連絡体制・対外調整役を確保し、医療機関や都道府県等との連絡調整等を行っていただく必要があります。実際に接種を担当する医療機関等との役割分担を確認しつつ、円滑に接種会場を運営できるようにお願いします。

＜具体的に対応する必要がある事項（例）＞

（１）従業員等のうち、接種を希望する者の把握、必要なワクチン量の算定
（２）スケジュール設定（接種計画の作成）
（３）会場運営にかかる企画・全体調整（医療機関、都道府県、ワクチンを配送する卸売販売業者等との連絡調整などを含む）
（４）集合契約への加入等の行政手続き
（５）医療機関と連携しつつ、予防接種に係る費用の請求

職域接種にあたり国で提供するもの

ワクチン保管用の冷凍庫

（１）－20℃の冷凍庫と保管温度の記録計（データロガー）をご提供します。
（２）武田/モデルナ社ワクチンが最大2,400回接種分（バイアル単位で240本分）を保管できます。
（３）使用後、返却いただき、他社の接種時に再利用しますので、大切にご使用ください。

武田/モデルナ社ワクチンについて

（１）職域接種で使用するワクチンは武田／モデルナ社ワクチンとし、
国から卸を通じて配送いたします。100回分を１単位として流通します。
（２）－20℃で冷凍された状態で配送され、使用前に解凍が必要です。
（３）武田／モデルナ社ワクチンの基本情報
効能効果：新型コロナウイルス感染症の予防
接種対象者（年齢）：18歳以上
用法・用量：筋肉内に接種（2回）　　接種間隔：4週の間隔
接種不適当者：本剤の成分に対し重度の過敏症の既往歴のある者　等
貯蔵方法：-20±5℃、遮光

接種用の針・シリンジ

（１）ワクチン接種に使用する、針及びシリンジについても、国からご提供します。
（２）針については、100本が１箱ずつ（83～118×93～113×75～93のサイズ）、
シリンジについても、100本が１箱ずつ（126～380×120～378×68～150のサイズ）
で配送されますので、針・シリンジの在庫を置くスペースも考慮いただくようお願いします。
※単位はいずれもミリメートルで、目安です。

市町村が特設会場を設けた場合における接種の具体的イメージ

令和３年１月25日
第２回自治体向け
説明会資料から抜粋・改変

必要な準備

○ 会場の確保　※医療機関でない場所を接種会場として用いる場合は、診療所開設の届出等が必要
○ 運営方法の検討：直営／委託、運営管理責任者の明確化、予約受付方法、応急対応の方法　等
○ 従事者の確保
○ ワクチン等の配送先の登録：V-SYSに配送場所、担当者名、担当者連絡先等の情報を登録
○ 必要物品の確保・保管

当日の流れ

以下のうち、医師が必須なのは③予診のみ

① 受付
検温、身分証明書の確認、予診票記載の案内

② 予診票確認
記載項目の抜け漏れ・不備のチェック、（２回目接種の場合）接種間隔や１回目接種ワクチン種別の確認

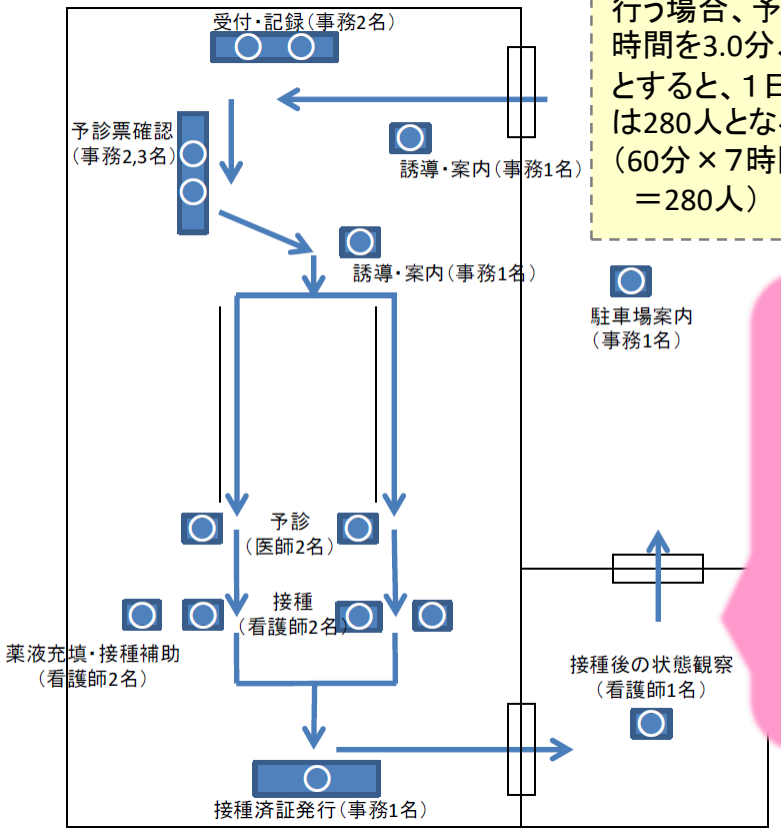
③ 予診　（医師）
体調や持病を確認する等必要な診察を接種前に行い、予防接種を受けることが適当でない者または予防接種の判断を行うに際して注意を要する者に該当するか否かの確認

④ 接種　（看護師等）
薬液を充填する者（薬剤師等）も別に配置が必要

⑤ 接種済証の交付
接種したワクチンのワクチンシールを接種済証に貼用し、接種日・接種場所を記載する

⑥ 接種後の状態観察
アナフィラキシーや血管迷走神経反射等の症状が生じることがあるため、一定期間観察を行う

会場設営のイメージ



1会場あたり2列体制で接種を行う場合、予診から接種までの時間を3.0分、実施時間を7時間とすると、1日あたりの接種人数は280人となる
（60分×7時間÷3.0分×2列＝280人）

・**少なくとも15分間**は被接種者の状態を観察
・重いアレルギー症状を引き起こしたことがある方、過去に採血等で気分が悪くなったり失神等を起こしたことがある方については**30分程度**、状態を観察
する必要があるため、状態観察ができるスペースの確保が必要

参考：市町村のための新型インフルエンザ等住民接種に関する集団的予防接種のための手引き(暫定版)（2014年3月11日）https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000086389.pdf

ワクチンの保管用冷凍庫の詳細

ツインバード社

（1）商品名（品番）
ディープフリーザー SC-DF25WL
（武田モデルナワクチン輸送標準機器と同じ）

（2）温度帯
設定温度 ： ＋10°C ～－40°C（1°C刻みで温度設定可能）

（3）サイズ・重量

内容量：25リットル、重量16.5Kg
外形寸法 ：幅 695 x 奥行 350 x 高さ 460（mm）
内径寸法 ：幅 335 x 奥行 225 x 高さ 340（mm）

（4）ロガー情報
データ読込みインターフェース：Bluetooth 5.0
スマートフォンで温度データー読み込み（iOS/Android対応）
※電池は約180日を目安に交換

（5）電源
壁コンセントから： SC-AD70 ACアダプター
車載時：シガレットプラグケーブル（3m、DC12V）
※分岐ソケットや二股コンセント、又は延長コードは使用しないこと。

（6）設置場所
水平な場所に、蓋を上にして設置すること。
水のかからない場所に設置すること。
風通しがよく湿気の少ない場所に設置すること。
付属のマットを敷いて使用すること。
吸排気口は壁や障害物から20cm以上離して設置すること。
直射日光の当たらない場所や埃の少ない場所に設置すること。

（7）お問合せＵＲＬ： https://www.twinbird-ec.jp
お問い合わせ番号（フリーダイヤル）： ０１２０－２８－４６２５

（8）停電時
停電時－20°Cから－15°Cまでの時間： 約25～30分

ディープフリーザー25L
SC-DF25WL

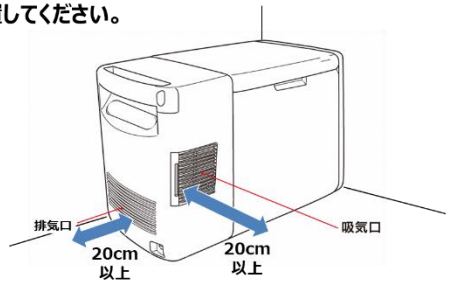
主な特徴
- 軽量・コンパクト・可搬型
- 1°C刻みの温度設定
- ノンフロン・CO2排出ゼロ
- 低消費電力

付属品：ロガー

付属品：ACアダプター

設置場所

●吸気口･排気口は、壁や障害物から20cm以上離して設置してください。



※注)仕様は予告なく変更される場合があります。ご注文前にご確認ください。

新型コロナワクチン職域接種の開始について

1. 使用するワクチン

モデルナ社製ワクチンを使用。

2. 開始時期

令和3年6月21日より開始。
高齢者接種が早期に完了する見込みのある自治体においては、自治体の判断で前倒しも可能。

3. 接種会場、医療従事者の確保

自治体による接種に影響を与えないよう、会場や医療従事者等は企業や大学等が自ら確保する。

4. 実施形態

○ 企業単独実施　　○ 中小企業が商工会議所等を通じて共同実施
○ 下請け企業、取引先を対象に含めて実施　　○ 大学等が学生も対象に含める　　等も可能。

5. 接種順位

職域接種対象者の中で優先順位を踏まえて実施。高齢者、基礎疾患を有する者を優先的に接種。

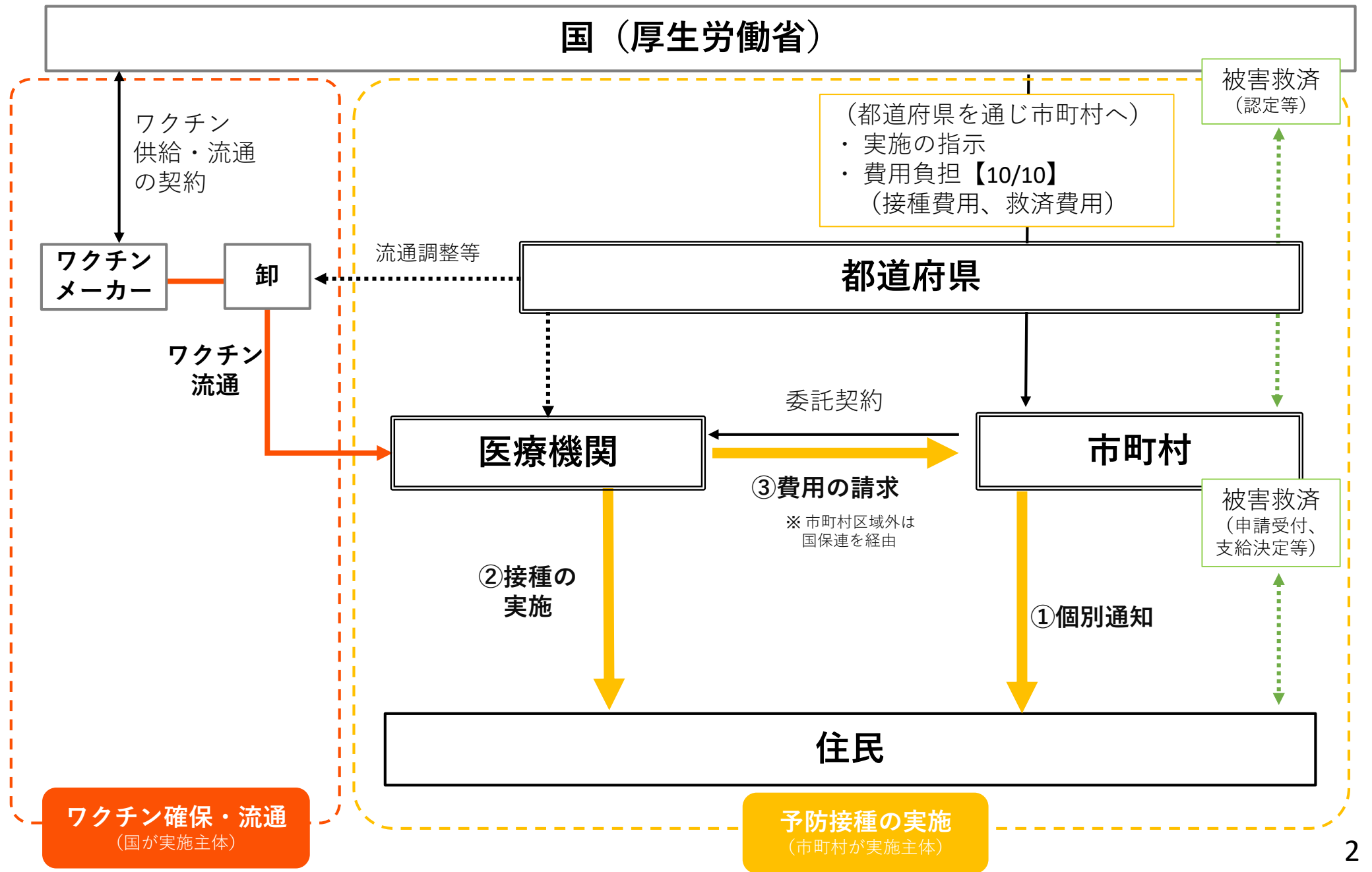
6. 接種費用

職域接種も予防接種法に基づき行われるものであり、接種にかかる費用は同法に基づき支給される。

7. 接種券

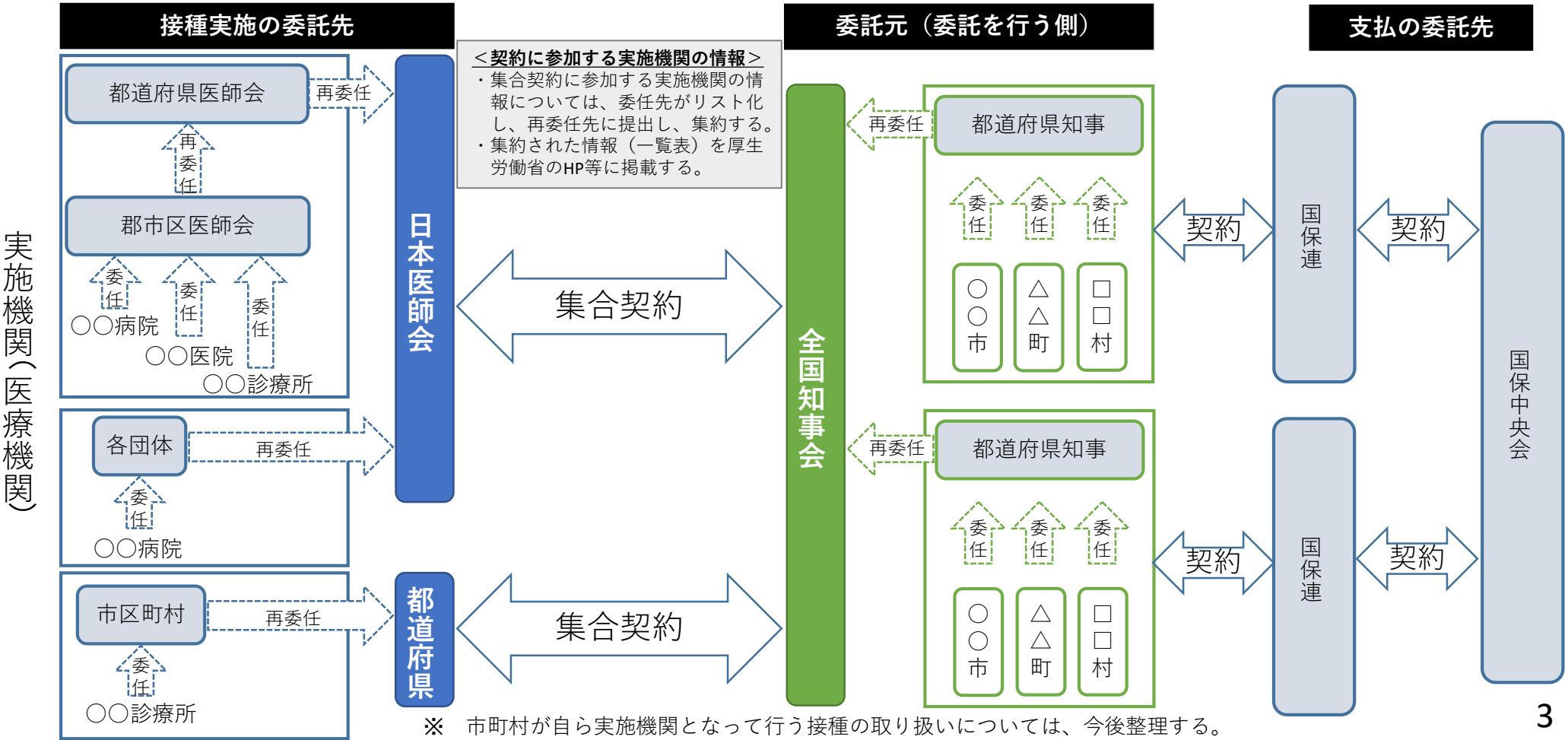
接種券が届く前でも接種可能。
接種券が発送された後は、企業や大学において本人から回収して予診票に添付、請求等を行う。
自治体は、標準的に6月中旬を目処に接種券の送付ができるよう、準備を進めていただきたい。

事業イメージ


国（厚生労働省）
ワクチン
供給・流通
の契約
（都道府県を通じ市町村へ）
・ 実施の指示
・ 費用負担【10/10】
（接種費用、救済費用）
被害救済
（認定等）
ワクチン
メーカー
卸
流通調整等
都道府県
ワクチン
流通
委託契約
医療機関
市町村
③費用の請求
※ 市町村区域外は
国保連を経由
被害救済
（申請受付、
支給決定等）
②接種の
実施
①個別通知
住民
ワクチン確保・流通
（国が実施主体）
予防接種の実施
（市町村が実施主体）

新型コロナワクチンの接種実施等に関する委託の集合契約（イメージ）　更新

- 新型コロナウイルスワクチンの接種実施に係る委託契約
  - 委託元である市町村は都道府県に契約を委任し、都道府県は全国知事会に再委任する。
  - 委託先となる実施機関は、それぞれが所属する郡市区医師会等の取りまとめ団体に契約を委任し、取りまとめ団体は日本医師会に再委任する。なお、取りまとめ団体のいずれにも所属しない実施機関は市町村に委任し、市町村は都道府県に再委任する。
  - 契約の締結について委任を受けた全国知事会と、日本医師会及び都道府県がそれぞれ集合契約を行う。
- 新型コロナウイルスワクチンの接種費用の支払に係る委託契約については、市町村は都道府県に契約を委任し、委任を受けた都道府県と国保連が契約を行う。



※　市町村が自ら実施機関となって行う接種の取り扱いについては、今後整理する。

事　務　連　絡
令和３年６月１日

各（都道府県／市町村／特別区）衛生主管部（局）御中

厚生労働省健康局健康課予防接種室

自衛隊大規模接種センターに関する資料の送付について

各都道府県におかれましては、全庁をあげて、新型コロナウイルス感染症対策に取り組まれていることに感謝を申し上げます。

さて、自衛隊東京大規模接種センター及び同大阪大規模接種センターについては、令和３年５月２４日より運用を開始したところですが、これらセンターの運営は、地方公共団体の集団接種会場の運営においても参考となるものと考えられることから、別添「受付から接種までをスピードアップし効率的に実施するためのポイント」（防衛省資料）を送付するとともに、別紙の参考写真をお示しします。

貴都道府県衛生主管部局におかれては、上記の趣旨を踏まえ、総務部局とも連絡を密に、集団接種会場の効率的に運用いただくようお願いいたします。なお、本件については、総務省より各地方公共団体の総務部局宛てにも送付されます。

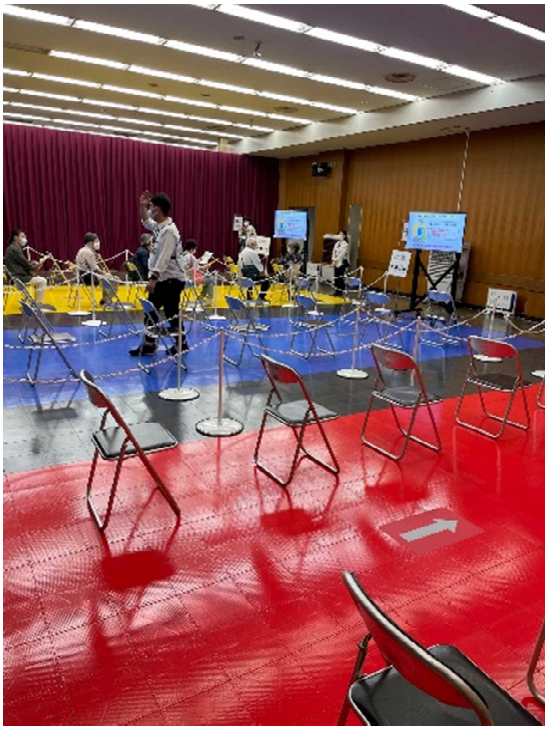
担当：健康局健康課予防接種室
直通 03-6812-7812　ＦＡＸ 03-3595-2779
Mail jvsupport_01@mhlw.go.jp（北海道・東北）
jvsupport_02@mhlw.go.jp（関東・甲信越）
jvsupport_03@mhlw.go.jp（東海・北陸）
jvsupport_04@mhlw.go.jp（近畿・中国）
jvsupport_05@mhlw.go.jp（四国・九州・沖縄）

別　紙

＜参考写真＞

写真①：（上）受付、（下）予診票記載ブース・待機場所　※いずれも屋外プレハブ

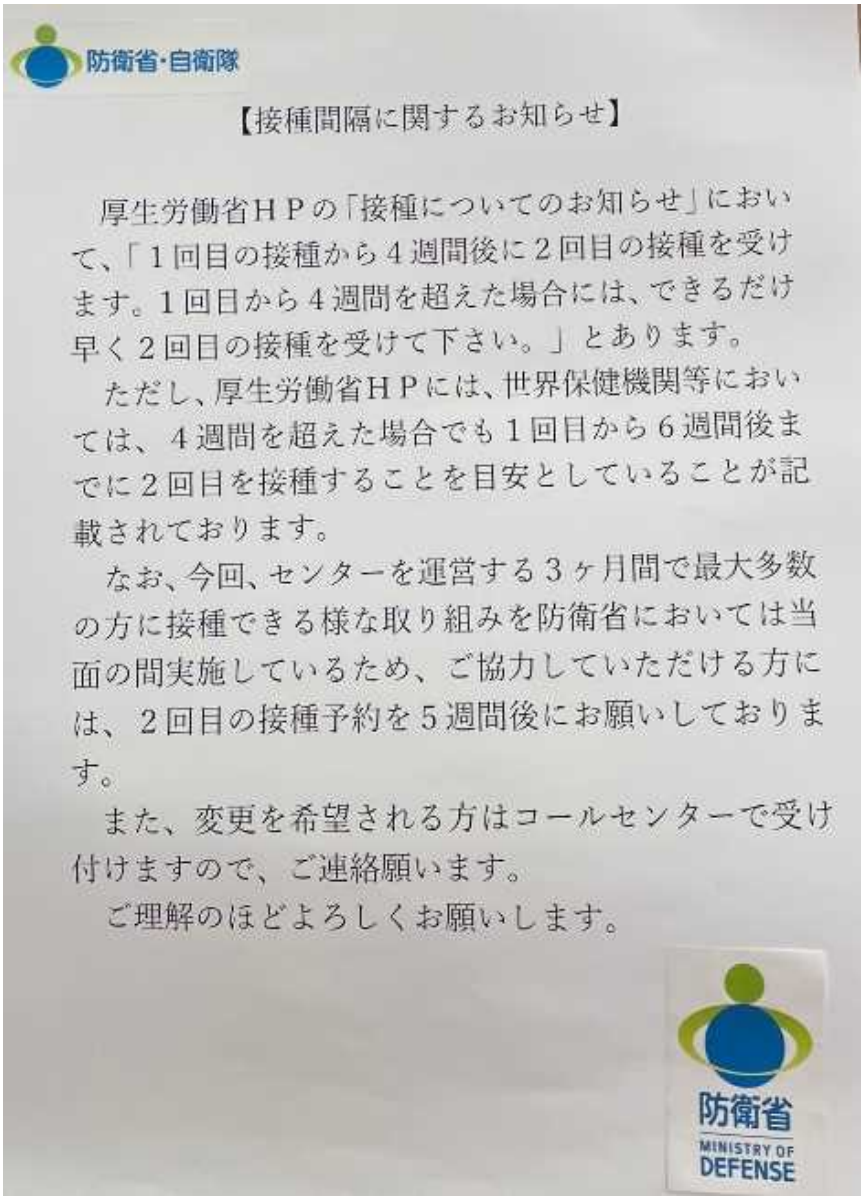
写真②：色分けによる管理



写真③：（左上）予診確認室、（右上）予診ブース、（下）接種ブース

写真④：（上）接種済み証発行所（手前）・２回目予約受付所（奥）
（下）経過観察所

写真⑤：２回目の予約を５週間後とするよう要請するお知らせ文



防衛省・自衛隊

【接種間隔に関するお知らせ】

厚生労働省ＨＰの「接種についてのお知らせ」において、「１回目の接種から４週間後に２回目の接種を受けます。１回目から４週間を超えた場合には、できるだけ早く２回目の接種を受けて下さい。」とあります。

ただし、厚生労働省ＨＰには、世界保健機関等においては、４週間を超えた場合でも１回目から６週間後までに２回目を接種することを目安としていることが記載されております。

なお、今回、センターを運営する３ヶ月間で最大多数の方に接種できる様な取り組みを防衛省においては当面の間実施しているため、ご協力していただける方には、２回目の接種予約を５週間後にお願いしております。

また、変更を希望される方はコールセンターで受け付けますので、ご連絡願います。

ご理解のほどよろしくお願いします。

防衛省
MINISTRY OF DEFENSE

受付から接種までをスピードアップし効率的に実施するためのポイント

令　和　３　年　５　月
防　　衛　　省

目　次

（１）受付時の仕分け・・・Ｐ２

（２）予診票の事前確認・・・Ｐ３

（３）予診とワクチン接種の分離・・・Ｐ４

（４）接種済交付書と２回目予約の分離・・・Ｐ５

受付から接種までをスピードアップし効率的に実施するためのポイント

（１）受付時の仕分け

① 複数の受付レーンの設置及び十分な誘導員の配置

② 読み取りが困難な接種券を持参した場合等、受付に時間を要することが見込まれる場合、特別レーンに誘導

③ 予診票を記入するブースを別途設置

①

②

①

③

受付から接種までをスピードアップし効率的に実施するためのポイント

（２）予診票の事前確認

○　医師による予診を実施する前に、予め看護師等が予診票を確認することにより、予診に要する時間を短縮。

看護師等による予診票確認ブース　→　医師による予診実施ブース

受付から接種までをスピードアップし効率的に実施するためのポイント

（３）予診とワクチン接種の分離

○　予診とワクチン接種を実施するレーンを分離することにより、予診を終えた被接種者を空いているワクチン接種レーンに誘導。

医師による予診実施ブース　→　看護師等によるワクチン接種実施ブース

受付から接種までをスピードアップし効率的に実施するためのポイント

（４）接種済交付書と２回目予約の分離

① 担当業務を単純化することにより、作業進捗を効率化。

② ２回目予約は、被接種者との調整が必要となることから、時間を要するため、ブースを多く用意する必要。

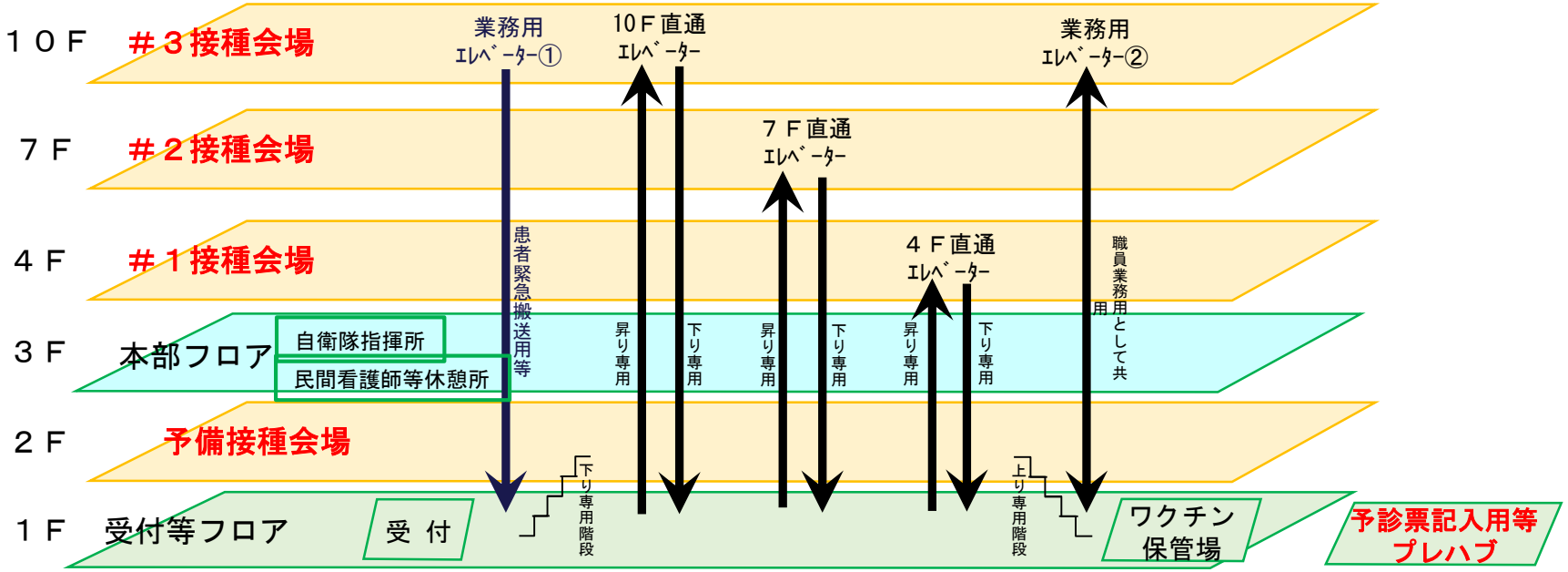
接種済交付書と2回目予約を分離しなかった場合

接種済交付書と2回目予約を分離した場合

自衛隊東京大規模接種センターの配置

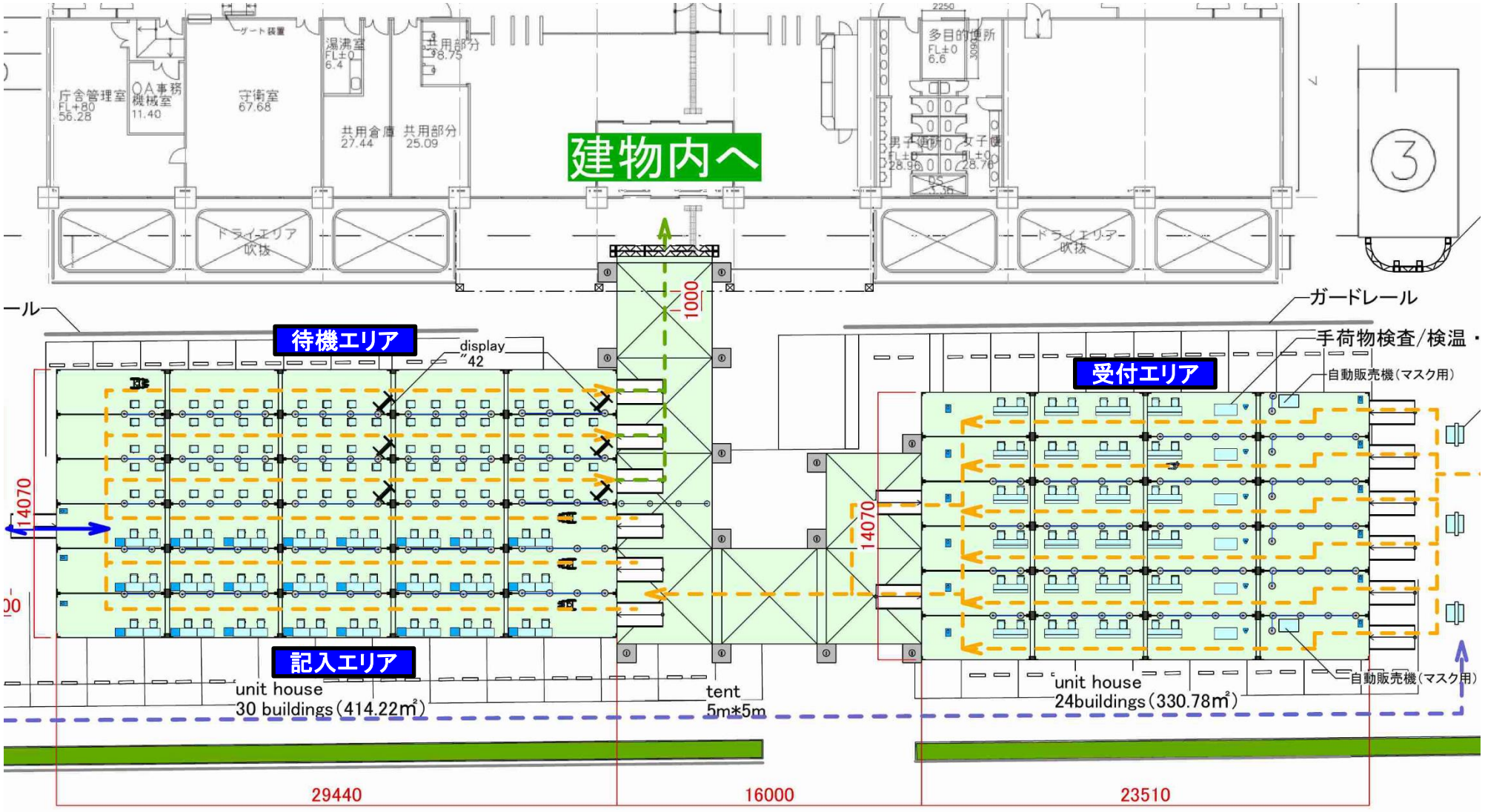
大手町合同庁舎3号館

- ○ 6個フロアを使用、4個接種会場を設営
- ○ 既存施設の清掃、一部改修、屋外にプレハブを増設
- ○ 会場入口から出口までの一連の動線を設定
- ○ 感染予防（三密回避）のための十分な空間を確保



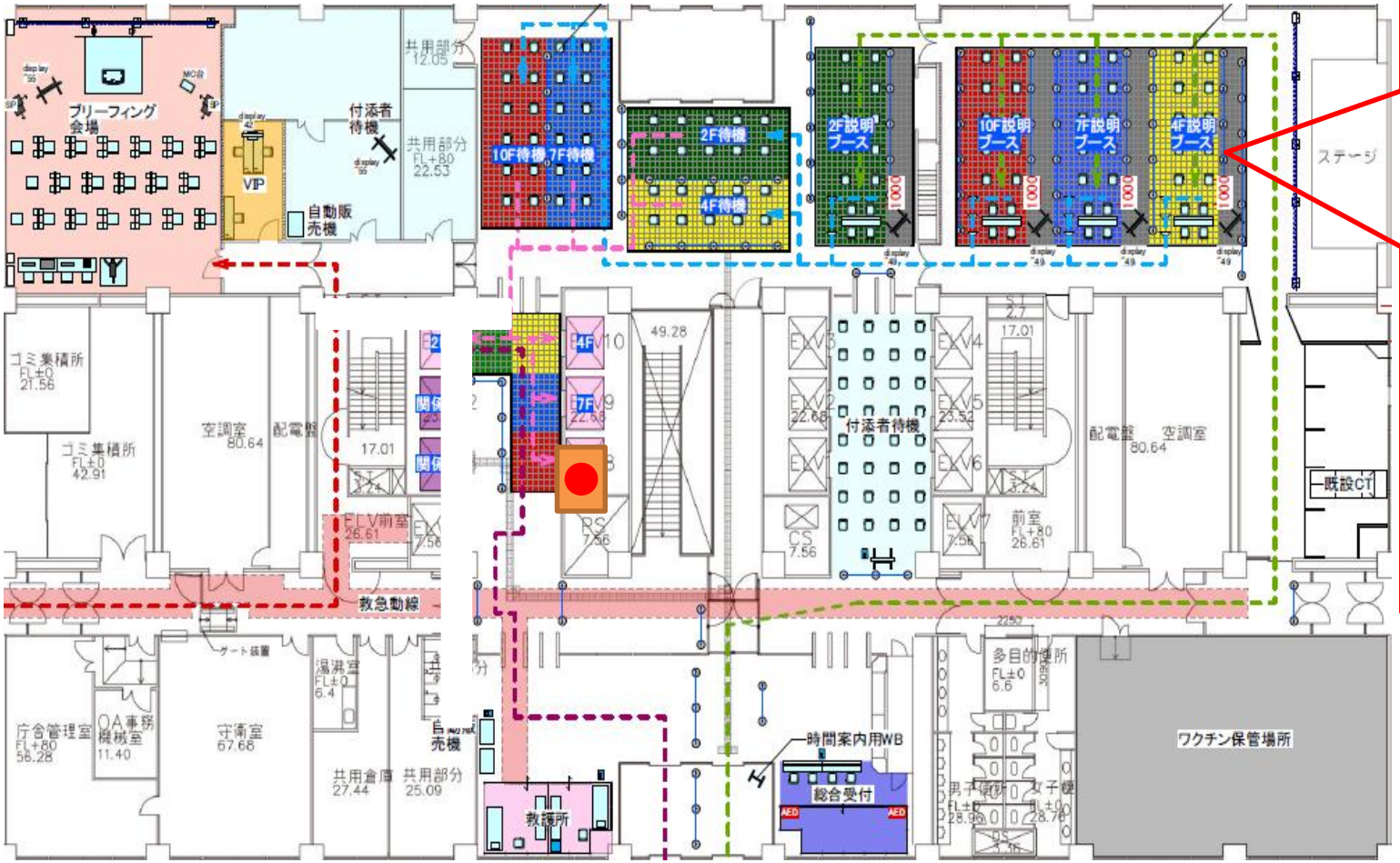
自衛隊東京大規模接種センターの配置（エントランス）

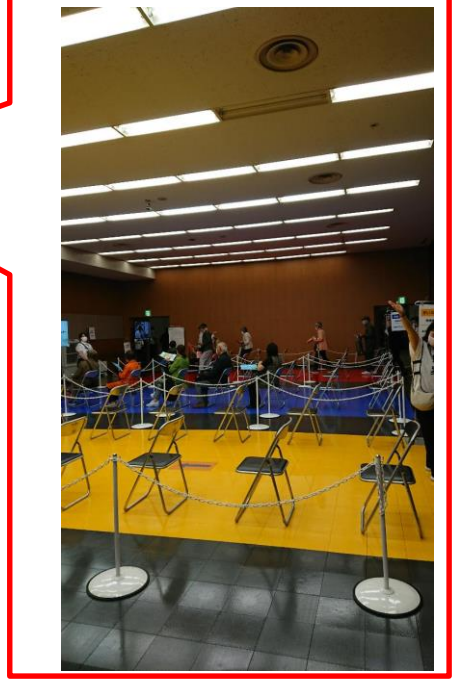
エントランス



自衛隊東京大規模接種センターの配置（１階）

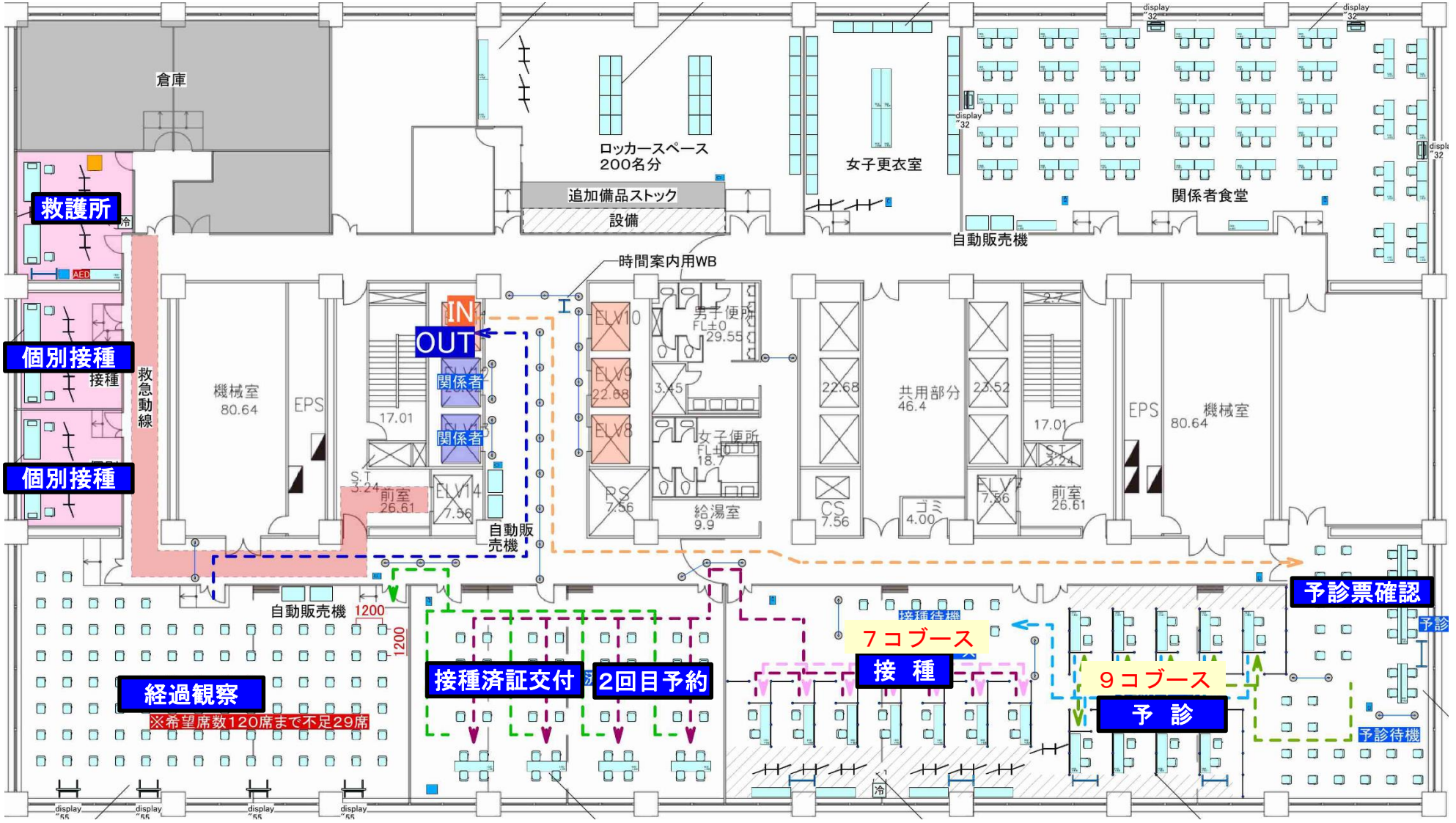
１階





自衛隊東京大規模接種センターの配置（２階）

２階

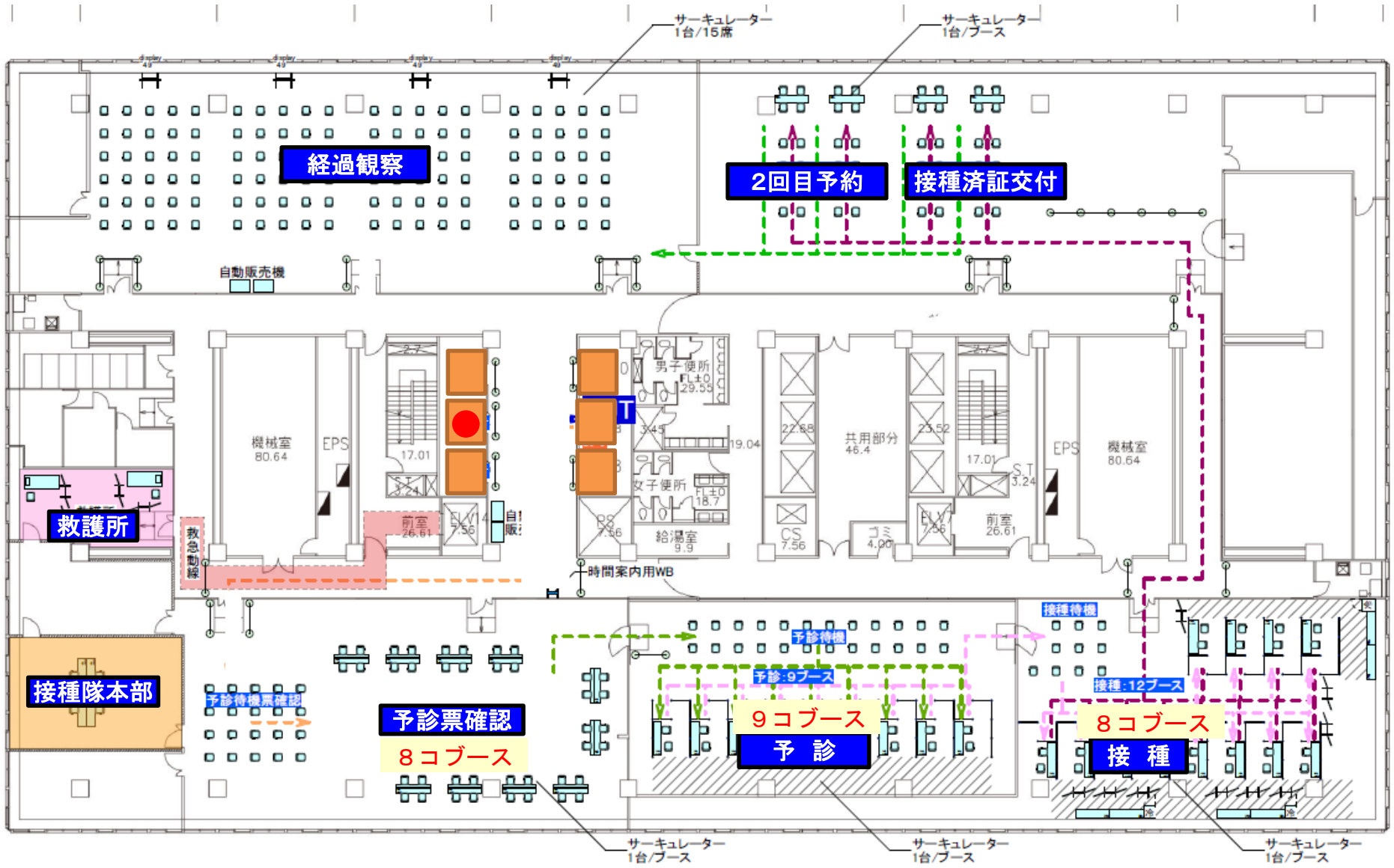


自衛隊東京大規模接種センターの配置（４階）

４階

自衛隊東京大規模接種センターの配置（７階）

７階



自衛隊東京大規模接種センターの配置（１０階）

１０階